

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	臨床人間学専攻現 代社会学専修
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	英 語	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答】 or 【解答例（採点時の観点）】					
〔Ⅰ〕					
規律権力の技法は、身体およびそのごく微細な機能作用に対する緻密な統制を通じて作動する。フーコーは、この技術を主権的・司法的権力と対比する。主権的・司法的権力は、規範よりもむしろ法に従って作動する。彼が示唆するモデルは、普通の人間を兵士へと作り変えたり、規律づけられていない子どもをしつけのよい生徒へと変容させたりするというものである。これらの統制諸形態は、このより公的な領域においてのみ行使されるのではない。それらは、社会が犯罪者を管理するしかたにおいても中心的なものとなる。しかし、フーコーが近代監獄の誕生を検討しているときでさえ、彼のより大きな論点は、規律権力が規範の存在するところにはどこにでも存在しているということである——それは、われわれの教育制度を支えている規範を含んでいる。われわれが学校と監獄とのあいだに並行関係を見るようになったのだとすれば、それは主として、フーコーがそれらをきわめて明晰に描き出したからである。					
【出題の意図】					
研究に必要な英語能力を検査するのに適切な英文					
〔Ⅱ〕					
内藤によれば、ノリはいじめ「遊び」に関わるなかで生徒たちが楽しむ集合的昂揚感である。集団の中で他者とわけもたれるこの感情的な高まりは、彼らの価値判断の最も重要な部分である。それは彼らの規範を構成し、社会秩序の基盤として機能する。そのような集団のなかであって生徒たちは、いじめから得る集合的な感情の高揚感をおそれ、物神化し、崇拜する。パーティにいたるときのように、最も重要とみなされるのは雰囲気を盛り上げることであり、彼らはこの高揚を得るためならなんでもする。内藤は、この文脈において、いじめは集合的な高揚感を生み出し維持する重要な方法であり、いじめに関わる者たちにとって、いじめは集合的な興奮を得て、再生産し、最大化する試みにおいて彼らが従う「道徳的」行為である、と説明する。					
ノリの原理にもとづいて、内藤は、機能不全のクラスはそれ自体の社会的階層秩序を有す					

ると論ずる。この階層秩序内の権力は、ある特定の生徒がいかにうまく集団を感情的に昂揚させることができるかにもとづく。その集団のなかでリーダーシップ役割を担うことができる者は、集団のリーダーになる。逆に、支配的な流れに抗うことを言ったり行ったりする者は、「不道徳」であるとして軽蔑され憎まれる。支配的な流れから突き出ることには疑問の余地なく「悪い」。突き出て堂々としていることは「ゆるしがたい」ことだ。階層秩序の底辺にいる者が自信に満ちて笑っていることは、「極悪」である。人権やヒューマニズムや個の尊厳のようなものを持ちだす者は、ノリのエネルギーを減退させるとして、まちがいなく「憎まれる」。

【出題の意図】

研究を行うのに必要な英語能力の検査に適切

〔Ⅲ〕

二重思考とは、互いに矛盾する二つの信念を同時に心に抱き、その双方を受け入れる能力を意味する。党の知識人は、自分の記憶をどの方向へ変えなければならないかを知っている。したがって、自分が現実に対してごまかしを行っていることも知っている。しかし、二重思考を働かせることによって、現実が損なわれてはいないと自ら納得するのである。この過程は意識的でなければならない。そうでなければ、十分な精密さをもって実行することができないからである。だが同時に、それは無意識的でもなければならない。そうでなければ、偽りであるという感覚が生じ、そこから罪悪感が生じてしまうからである。二重思考は、イングソックのまさに中心に位置している。なぜなら、党にとって本質的な行為とは、完全な誠実さに伴う確固たる目的意識を保ったまま、意識的な欺瞞を用いることだからである。意図的な嘘をつきながら、その嘘を本当に信じること。不都合になった事実をすべて忘れ去り、ふたたび必要になったときには、必要とされる間だけ、それを忘却の中から引き戻すこと。客観的現実の存在を否認しながら、同時に、自らが否認しているその現実を考慮に入れること。こうしたことはすべて、どうしても必要なのである。

【出題の意図】

研究に必要な学力を検査するのに適している

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミSSIONポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミSSIONポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。